

3. 自学自習の促進

学習内容の定着とともに学習習慣も身につけられるように、子どもたち自身で理解を確認したり、これまでの学習に振り返ったりすることができるよう構成しています。

自己評価

各単元末の「たしかめましょう」(11ページ参照)や「6年のまとめ(算数パスポート)」、「もっと練習」では、子ども自身が理解度を確認することができます。

3年下 p.56

問題番号の横に枠を設けて、理解度に応じてチェックできるようにしています。

3年下 p.53

よく理解できていなかった内容は「ふりかエル」で戻ることができます。

3年下 p.129

必要に応じて「もっと練習」で繰り返し練習することができます。

■ 6年のまとめ(算数パスポート)

6年間で学習してきた内容を総復習するコーナーでは、各問題の理解の確認と、レーダーチャートを使った総合的な理解度の確認することができます。

6年 p.202

前学年までの内容について、右端部分に「ふりかえり」を設けています。

6年 p.221

この章題
問題の見方・考え方
216~217ページ

この章題
計算と見積もり
205~207ページ

この章題
数量の関係
211~215ページ

この章題
図形
208~210ページ

他の章題
見積もり
202~204ページ

第5・6学年を合冊で構成

学校の楽しさや教科の好き嫌い等について小学校第4～5学年段階で段差がみられるという中央教育審議会答申の報告を受けて、第5、6学年では、「全体の中で関係性が捉えられる子ども」像を想定し、子ども自身が1年間を見通したり振り返ったりしながら学習が進められるよう、年間1冊の合冊という中学校と同様の形態にしています。

6年 p.98

◆◆復習◆◆

① ① $\frac{1}{4} \times \frac{1}{5}$ ② $\frac{3}{8} \times 3$ ③ $\frac{5}{2} \times \frac{2}{7}$ ④ $\frac{7}{12} \times \frac{4}{35}$ ⑤ $\frac{1}{6} \div \frac{1}{8}$ ⑥ $\frac{3}{10} \div \frac{9}{5}$ ⑦ $\frac{25}{12} \div \frac{5}{8}$ ⑧ $6 \div \frac{9}{4}$

② 次の図形の面積を求めましょう。

⑦ 長方形
5cm
7cm
⑧ 三角形
12.4cm
8cm
8.4cm
⑨ ひし形
2cm
6cm
3cm
⑩ ひし形
10cm
8cm
8.4cm

→ 4.5年「面積」

■復習

第5・6学年の「復習」では、これまでの学習に振り返ることができるよう「ふりカエル」を設けました。

■前学年までのまとめ

第5・6学年の巻末には、前学年までの学習内容の重要事項をまとめました。

1冊の中で子ども自身が既習事項を振り返ることができます。

6年 p.284-285

5年生までのまとめ

大きな数 2, 3, 4年

- 100を10個集めた数……千 (1000)
- 1000を10個集めた数……一万 (10000)
- 千万を10倍した数……一億 (100000000)
- 千億を10倍した数……一兆 (1000000000000)
- 一兆は一億の1000倍 (1,000,000,000,000)
- 偶数……2でわり切れる整数 (0, 2, 4, ……)
- 奇数……2でわり切れない整数 (1, 3, 5, ……)

計算のきまり 4, 5年

- $\blacksquare + \bullet = \bullet + \blacksquare$
- $\blacksquare \times \bullet = \bullet \times \blacksquare$
- $(\blacksquare + \bullet) \times \triangle = \blacksquare \times \triangle + \bullet \times \triangle$
- $(\blacksquare - \bullet) \times \triangle = \blacksquare \times \triangle - \bullet \times \triangle$
- $\bullet + \triangle = \triangle + \bullet$
- $\bullet \times \triangle = \triangle \times \bullet$
- $(\bullet + \triangle) \times \square = \bullet \times \square + \triangle \times \square$
- $(\bullet - \triangle) \times \square = \bullet \times \square - \triangle \times \square$

積の大きさ 5年

- かける数>|のとき、積>かけられる数
- かける数=|のとき、積=かけられる数
- かける数<|のとき、積<かけられる数
- わる数>|のとき、商>わられる数
- わる数=|のとき、商=わられる数
- わる数<|のとき、商<わられる数

等しい分数・約分・通分 5年

- 分母と分子に同じ数をかけても、同じ数でわっても、分数の大きさは変わらない。
- 分数を約分するには、分母と分子を、それらの公約数でわっていく。
- いくつかの分数を通分するには、分母の公倍数をみつけて、それを分母とする分数になおす。

分数の計算 5年

- 分母のちがう分数のたし算やひき算は、通分してから計算する。
- 分数に整数をかけるには、分母はそのまま、分子にその整数をかける。
- 分数を整数でわるには、分子はそのまま、分母にその整数をかける。

単位の関係 2, 3, 4, 5年

- 長さ 1km=1000m, 1m=100cm, 1cm=10mm, 1mm=1000μm
- かさ 1L=10dL, 1dL=100mL, 1L=1000mL
- 重さ 1t=1000kg, 1kg=1000g
- 面積 1km²=1000000m², 1m²=10000cm², 1ha=10000m², 1a=100m²
- 体積 1m³=1000000cm³, 1L=1000cm³
- 時間 1日=24時間, 1時間=60分, 1分=60秒

面積や体積を求める公式 4, 5年

- 長方形の面積=縦×横
- 三角形の面積=底辺×高さ÷2
- 台形の面積=(上底+下底)×高さ÷2
- 直方体の体積=縦×横×高さ
- 正方形の面積=1辺×1辺
- 平行四辺形の面積=底辺×高さ
- ひし形の面積=対角線×対角線÷2
- 立方体の体積=1辺×1辺×1辺

平均 5年

- 平均=合計÷個数

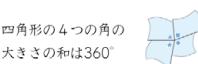
合同 5年

- 合同な図形では、対応する辺の長さは等しく、対応する角の大きさも等しい。



三角形や四角形の角 5年

- 三角形の3つの角の大きさの和は180°
- 四角形の4つの角の大きさの和は360°



円 5年

- 円周率=円周÷直径 (円周率はふつう3.14を使う)
- 円周=直径×円周率
- 割合=くらべる量÷もどにする量
- もどにする量=くらべる量×割合

百分率・歩合 5年

- 百分率では、0.01倍のことを1% (1パーセント)という。
- 歩合では、0.1倍を割合、0.01倍を1分、0.001倍を1厘という。